

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

第107回薬剤師国家試験が2月19、20日に終了し、受験生たちは合格発表の日までドキドキしていることと思います。

今年の出願者数は1万5,610人でしたが、ここからさらに受験者数は減少します。ちなみに、昨年の受験者数は出願者数から1,649人減少の1万4,031人でしたが、これは大学を留年・卒業延期した人だと考えられます。試験問題については、全体的に今後の薬剤師業務の変化も見据えて、新たなコアカリキュラムを意識したものでした。複数の疾患を持つ患者や、複数薬物を服用している患者が背景になることが多く、検査結果や検査値を読み解く問題が増えました。

メディセレ自己採点システムの集計結果では、平均点は237.3点と昨年の同時期239.1点より約2点下がりました。分析すると、難易度は昨年と同じ程度で、1日目の午前の必須問題は昨年より少し難しかった一方、午後の理論問題は少しだけ解きやすく、2日目も昨年と同じ程度という結果でした。正答率が60%以上の問題数が昨年と同じ232問だったので、これがしっかり解けていることを願います。

ちなみに気になる今年の合格ラインですが、昨年は215点でした。ただ、こればかりは合格者数が発表されるまでは分かりません。受験生たちのドキドキは発表日まで続きます。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子